

## 令和6年度 学校関係者評価委員会報告

1. 日 時：令和7年3月12日（水）11：00～11：50
2. 場 所：別府医療センター附属大分中央看護学校 会議室
3. 学校関係者評価委員
  - ・川中委員長（別府医療センター 副院長）
  - ・竹之内須賀子委員（西別府病院 看護部長）
  - ・佐藤玉枝委員（藤華医療技術専門学校 学校長）
  - ・廣田真里委員（別府大学看護学部設置準備室 教授、同窓会会長）
4. 議事
  - 1) 令和6年度学校評価（資料1、参考資料、別紙1、別紙2）
    - （1）令和6年度 教員による自己点検・自己評価
    - （2）令和6年度 学生満足度評価
  - 2) 意見交換
5. 学校関係者による主な意見
  - 1) 令和6年度教員による学校評価（自己点検自己評価）最終評価について

カテゴリー		評価・意見など
	全体結果	<p>○ 前年度との最終評価の比較であり、全カテゴリーでポイントが増加した。</p> <p>⇒（意見）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教員の全体評価が上昇し、ブラッシュアップしながら教員が取り組んでもらった。最後の卒業生も全員卒業させてもらってよかったと思う。</li> <li>・自己研鑽として学習会等に取り組み、評価もほぼすべて上昇するという結果を残された。</li> </ul>
VIII	地域社会／国際交流	<p>○ 「海外からの帰国学生や留学生の受け入れ体制整備」について、海外留学生の希望はあるか。</p> <p>→学校より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・希望はここ数年ない。7年前には海外の看護学生が学校を見学に来たことはある。</li> </ul> <p>⇒（意見）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・留学生の希望があるため、受け入れる体制づくりが必要と考えている。</li> </ul> <p>○ 「地域社会」の評価項目は何か。</p> <p>→学校より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「養成所は社会との連携のため、地域社会の特徴、ニーズを把握している。」</li> <li>・「看護教育活動を通し地域社会への貢献を組織的に行っている。」</li> <li>・「養成所から地域社会へ情報を発信する手段をもっている。」</li> <li>・「地域内の諸資源を養成所の学習・教育活動に取り入れている」の4項目である。</li> <li>・評価結果としては昨年度2.4→2.8へ上昇している。具体的には、学年間で交流した地域貢献活動やボランティア、先日はがんサバイバー関連の行事に参加している。</li> <li>・これらの活動を病院（学校）のホームページに掲載し広報活動を実施している。</li> </ul> <p>⇒（意見）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域社会への貢献として、良い取り組み結果として報告されるとよい。</li> </ul>

2) 令和6年度 学生満足度評価

カテゴリー		評価・意見など
II	教育活動	<p>○「2. 実習内容について」の「実習施設の環境」の項目が若干下がっているのは、どこの施設かわかるか。</p> <p>→学校より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設別では問うていないので、詳細は分からないが、訪問看護ステーション等外部実習施設の待機室が狭い等の記載が見られているため、病院ではないと考えられる。</li> </ul>
IV	教員組織	<p>○「教員間の連携が昨年度よりも上昇し改善している。この評価については教員としてどのように認識しているか。</p> <p>→学校より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・看護学生として体調を整えて学習をしていく必要があるため、体調管理等については指導をしている。朝夕の体調報告について、朝確認した内容を教員間で共有しているものの、夕方違う教員が対応したときに、認識の違いがあったり、学生の受け止め方が違っていたこともあり、特に学生数が多かった時には連携不足のことがあった。今年度はそういった認識の違いがなくなるように努力をした。</li> <li>・学生に「これはどうしたらいいか」と質問された際に、「〇〇先生に聞かないとわからない」ということもあった。このようなことがないように、自ら情報を取りに行くようにしたり、自分が持っている情報は速やかに共有するように努力をした。</li> </ul> <p>⇒ (意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・チームの中で今日どのようなことが起こっているのか、共有しておくことが必要である。教育の現場は特に領域が分かれるため、連携・共有はとても大事にしていく必要がある。</li> </ul>
IX	その他	<p>○「ハラスメント」について、1名の学生が受けたと回答している。これは実際にハラスメントとして対応したものか。</p> <p>→学校より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本満足度調査の回答として1名記載があったものである。</li> <li>・言い方がきついことが要因となっているので気を付けたい。昨年度、調査ではあがってこなかったが、教員室で教員にたいして強く指導している場面を見たといった声が聞かれていた。言葉の使い方には気を付けなければならないと思っている。</li> </ul> <p>⇒ (意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な企業や病院・学校でもハラスメントは大きな問題となっている。この数は0にしていく必要がある。</li> <li>・当院でも弁護士を交えてハラスメント委員会を実施している。委員会を実施しているというだけで職員の安心感がある。ハラスメントは人間関係・コミュニケーションエラーから起こるものである。ハラスメントについての取り組みを強化したことで、職員の離職率が低下している。</li> </ul>